【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公開番号】特開2009-110646(P2009-110646A)
【公開日】平成21年5月21日(2009.5.21)
【年通号数】公開・登録公報2009-020
【出願番号】特願2008-300573(P2008-300573)
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　7/24　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/12　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　7/007　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　7/24　５７１Ｂ
Ｇ１１Ｂ　20/12
Ｇ１１Ｂ　7/007

【手続補正書】
【提出日】平成21年6月29日(2009.6.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
情報を処理するように動作する処理装置と情報を通信するためのインターフェースと、
それぞれ１つのタイプの光学媒体と関連付けられている複数のレーザと、
光学ドライブと関連付けられており、複数のレーザの第１のものによって光学媒体を照射して複数のレーザの第２のものと関連があるとして光学媒体に埋設された光学媒体を識別する情報を検出するように動作する光学媒体識別モジュールとを具備している光学媒体を受取る準備がなされている光学ドライブにおいて、
前記光学媒体識別モジュールは、第１のレーザが第２のレーザに関連付けされている識別情報を検出できない場合に複数のレーザの第１のものに関連付けされている検出アルゴリズムを実行するように動作し、
前記光学媒体識別モジュールは、前記検出アルゴリズムが第１のレーザに関連付けされている識別情報を検出できない場合に第３のレーザによって複数のレーザの第３のものに関連付けされている検出アルゴリズムを実行するように動作する光学ドライブ。
【請求項２】
第１のレーザは赤色レーザで構成され、第２のレーザは青色レーザで構成されている請求項１記載の光学ドライブ。
【請求項３】
光学媒体識別モジュールはさらに、赤色レーザが青色レーザに関連した識別情報を検出した場合に、光学媒体に対する青色レーザの使用を開始するように動作する請求項２記載の光学ドライブ。
【請求項４】
第１のレーザはＩＲレーザで構成され、第２のレーザは青色レーザで構成されている請求項１記載の光学ドライブ。
【請求項５】
光学媒体識別モジュールはさらに、ＩＲレーザが青色レーザに関連した識別情報を検出

した場合に、光学媒体に対する青色レーザの使用を開始するように動作する請求項４記載の光学ドライブ。
【請求項６】
光学媒体識別モジュールはさらに、赤外線レーザが青色レーザに関連した識別情報の検出に失敗した場合に、ＣＤ検出アルゴリズムを行うように動作する請求項５記載の光学ドライブ。
【請求項７】
複数のレーザはさらに赤色レーザを含み、光学媒体識別モジュールはさらに、ＣＤ検出アルゴリズムが光学媒体をＣＤとして識別できなかった場合に、赤色レーザによりＤＶＤ検出アルゴリズムを行うように動作する請求項６記載の光学ドライブ。
【請求項８】
光学媒体を照射するために複数のレーザの第１のレーザを選択し、
その第１のレーザにより、複数のレーザの第２のレーザと関連付けられた光学媒体から識別情報の読出しを試み、
第１のレーザによる識別情報を読出す試みが成功した場合、その識別情報にしたがって第２のレーザの使用を開始し、
識別情報を読出す試みが失敗した場合、第１のレーザにより検出アルゴリズムを行い、この第１のレーザ検出アルゴリズムによって光学媒体を第１のレーザに関連したものとして識別することを試み、
第１のレーザ検出アルゴリズムが成功した場合、第１のレーザの使用を開始し、
第１のレーザ検出アルゴリズムが失敗した場合、第３のレーザにより検出アルゴリズムを行い、この第３のレーザ検出アルゴリズムによって光学媒体を第３のレーザと関連したものとして識別することを試みる、複数のレーザを有する光学ドライブ中に挿入される光学媒体を識別する方法。
【請求項９】
第１のレーザは赤色レーザを含み、第２のレーザは青色レーザを含み、第３のレーザは赤外線レーザを含んでいる請求項８記載の方法。
【請求項１０】
第１のレーザは赤外線レーザを含み、第２のレーザは青色レーザを含み、第３のレーザは赤色レーザを含んでいる請求項８記載の方法。
【請求項１１】
第１のレーザと関連付けられた光学媒体はＤＶＤを含み、第３のレーザと関連付けられた光学媒体はＣＤを含んでいる請求項８記載の方法。
【請求項１２】
第１のレーザと関連付けられた光学媒体はＣＤを含み、第３のレーザと関連付けられた光学媒体はＤＶＤを含んでいる請求項８記載の方法。